

今月の特集では、令和7年度の《まちの方針》と《お金(予算)の使いみち》などについて紹介します。

新年度にあたり

市 政の舵取りを担わせていただき、3年目を迎えます。引き続き、9万8千の市民に、安全安心な暮らしと、活気あふれるまちを実感していただけるよう、現場重視の姿勢で、責務を全うしてまいりますので、皆さまの一層のご支援とご協力をお願いいたします。

現下の国際情勢は、ウクライナや中東において緊迫した情勢が続いており、原油価格や物価の高騰など、市民生活へも大きな影響を与えています。

また、米国の政策による、今後の経済や安全保障政策などに関し、我が国への影響や変化を注視していく必要があります。

一方、国内では、石破内閣のもと、国づくりの基本軸として、地方創生のさらなる推進や、自衛隊の人的基盤をはじめとする防衛力の強化、社会保障制度や少子化対策へ

の取り組みの充実などが掲げられています。

政府には、市民生活に直結する物価高騰対策や少子化対策など、現下の課題を踏まえた政策への取り組みに期待するところであります。

本市においては、昨年度から策定作業を進めてきた、ラビダス社の立地などにより生じるまちの変化や、将来のまちづくりの方向性を示す「将来ビジョン」が完成しました。また、ラビダス社の立地や今後の半導体関連産業の集積による波及効果などを想定し、「人口ビジョン」を改訂しました。

これらのビジョンを踏まえながら、本市を取り巻く社会情勢の変化を的確に捉えて、第7期総合計画に掲げる施策を着実に進め、「市民が暮らしやすく、活気あふれるまち」となるよう、全力で取り組んでまいります。



千歳市長 横田 隆一

“ 発展 ” 予算

次世代へつなげる

まちづくりの基本姿勢

安全安心、人を育む まちづくり

近年の頻発化している自然災害を目の当たりにし、改めて、防災・減災に向けた取り組みの重要性を強く感じています。

また、少子高齢化、労働人口の減少、デジタル社会への転換など、社会構造が大きく変化している中、全国的に深刻化している人材不足への取り組みや、多様化するライフスタイルへの対応、まちの将来を担う子どもたちが、生き生きと学び、子育て世代が安全安心に子育てできる環境づくりは、本市においても重要な課題です。

急速に変化する社会情勢を見極め、市民ニーズを的確に捉え、「医療・福祉」をはじめ、「子育て・教育環境」の充実や、「防災施策」の推進、「都市基盤」の整備など、日々の生活に「安心」と「幸せ」を感じるまちづくりを進めます。

快適で、活気あふれる まちづくり

本市においては、産業や自然環境、あるいは経験豊富な人材など、まちのポテンシャルは高いものと、感じています。

北海道の空の玄関である新千歳空港が所在し、石狩管内において高い農業生産額を誇る農業生産地帯や、280社を超える企業が立地する工業団地、四季折々の景観が魅力的な国立公園支笏湖があり、さらに現在、次世代半導体製造拠点となるラビダス社の工場稼働に向けた取り組みが進められています。

これらの特性(地域資源)は、まちの活性化、発展に欠かせない、たいへん貴重な財産です。本市が誇る特性を最大限活かしながら、市民、事業者とともに、活気あふれるまちづくりに取り組みます。

まちづくりの課題

① 子育て支援と 教育環境の充実

まちの将来を担う子どもたちの健やかな成長を支えていくため、「千歳市こども計画」などに基づき、こども施策を総合的に進め、地域特性を踏まえた妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援を行います。

また、令和8年度から、国が新たに創設する「こども誰でも通園制度」について円滑に実施するため、先行して令和7年度の早期に開始します。

さらに、仕事と育児の両立について支援を充実させるため、保育の受け皿確保として、利用定員を45人拡大するほか、「病児・病後児保育事業」について、利用定員をこれまでの3名から5名に拡大します。

② 都市基盤の整備と 防災への取り組み

老朽化が進む道路、橋梁などの修繕や更新、耐震化などを計画的に進め、市民がこのまちで

地域を重視する観点から、本市にある部隊が削減、縮小の対象となり、隊員が減少することを強く懸念しています。

今後、「北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会」、「千歳市における自衛隊の体制強化を求める期成会」などと連携し、本市への新たな部隊の誘致を含めた自衛隊の体制強化や充足、人材確保に向けた自衛官の処遇改善を求める活動を精力的に行います。

④ 次世代半導体 製造拠点整備への対応

令和5年2月、ラビダス社の「千歳美々ワールド」への立地が決定してからわずか2年。世界最先端の半導体工場「IIM(アイム)ー1」の試作ラインが4月から稼働します。

市がこれまで進めてきた道路や上下水道などの各種インフラ整備は、試作ラインの稼働に向けた対応を完了しました。引き続き、令和9年の量産開始に向けて、スピード感を持って取り組みます。

また、まちの新たな活力を生み出す関連従業員などの定住者や、出張などでの一時滞在者の

快適に暮らし続けられるよう、都市基盤の整備に積極的に取り組みます。

防災については、指定避難所への給水確保に向けた重要給水施設の耐震化を継続して行います。また、ハザードマップや施設情報などの地理空間情報をWeb(ウェブ)上で確認できる「公開型GIS」を導入します。

③ 自衛隊の体制強化

市は、70年以上の長きにわたり、自衛隊との共存共栄のまちづくりを進めております。人口の維持や安定した市内経済活動の継続のためには、自衛隊の体制維持・強化が不可欠です。

国は、「防衛力整備計画」などに基づき、新たな領域における部隊の新編や、南西正面への部隊配置、人的基盤の強化など、防衛力の整備などに必要な事業を進めています。しかし、南西

受け入れ環境の整備を進めるとともに、産業の持続的発展を支える人材を育成するため、公立千歳科学技術大学をはじめとする関係機関と密接に連携した取り組みを進めます。

ラビダス社の立地を契機に、サービスや消費活動の増大などによる経済効果を少しずつ実感しています。今後も市内事業者の取引拡大に向けた取り組みなどを通じて、市内経済全体の底上げや、多岐にわたる波及効果につなげます。

⑤ 空港開港100年に 向けた取り組み

令和8年に迎える空港開港100年に向け、ロゴマークやキャッチフレーズ「翼に夢を乗せて次の100年へ」を活用した啓発活動を行い機運を醸成するとともに、記念事業について検討を進めます。

また、99年前に千歳に初めて「北海」第一号が着陸した歴史を再認識し、次の100年に向けたスタートラインとなるよう、「千歳市空港開港100年実行委員会」とともに取り組みを進めます。



関係機関と連携した防災訓練

③ 「災害や危険から暮らしを守るまち」の推進

【消防】▼札幌圏共同消防指令センターの運用開始▼消防署富丘出張所の新築移転に向けた取り組みを推進▼消防車両や消防用資機材を更新▼消防団員の防火服を更新

【防災】▼災害応急対策用品の整備▼民間事業者や防災関係機関との連携を強化▼自主防災組織や各町内会との防災事業を実施▼住民基本台帳情報を基にした被災者台帳を作成▼避難所の入退所管理などが行える「クラウド型被災者支援システム」を整備▼ヒグマの出没抑制のため、警戒する音を発生する装置を導入

事業名	予算額(千円)
★札幌圏共同消防通信指令システム運用業務経費	32,902
消防車両等更新事業	209,716
消防団員用防火服更新整備事業	4,684
災害応急対策用品等整備事業	8,736
★公開型・統合型GIS整備事業	104,791

④ 「充実した学びと豊かな文化・スポーツのまち」の推進



半導体関連産業に求められる人材の育成に取り組む《公立千歳科学技術大学》

【学校活動】▼教室への登校が困難な児童生徒の学習保障や教育相談の充実のため、校内教育支援センターへ支援員を配置

【学校給食】▼《千歳市新学校給食センター整備基本計画》に基づき、事業者募集に向けた作業などを推進

【公立千歳科学技術大学】▼大学院の機能強化・拡充による高度情報専門人材を育成▼北海道大学等との連携のもと、半導体産業の発展を支える人材を育成

【スポーツ振興】▼青葉公園庭球場などの施設更新を計画的に実施

【文化財】▼国指定史跡「キウス周堤墓群」ガイダンスセンターの供用を開始

事業名	予算額(千円)
生徒指導事業	2,071
新学校給食センター整備事業	23,468
★地方大学・地域産業創生事業	49,673
★青葉公園庭球場改修事業	36,950
★キウス周堤墓群ガイダンスセンター管理業務経費	7,110

⑤ 「地の利と資源を生かした産業のまち」の推進

【農林業】▼優良農地の確保や、スマート農業の普及推進助成などによる農業経営の強化▼健全な森林の維持▼漁川右岸地区における排水施設を整備

【商業の振興】▼空き店舗の活用の促進▼中小企業振興融資の利用者への保証料補給を実施▼市民や事業者、関係団体などの意見を踏まえた新たな《商業振興プラン》を策定

【雇用】▼合同求人企業説明会や高校生向けの市内企業見学会を開催▼採用後の早期離職を防ぐための企業向けセミナーを開催

【観光振興】▼観光パンフレットを多言語化▼新たな観光PR動画を作成▼宿泊税の導入に向けた検討

【支笏湖チップ】▼支笏湖漁業協同組合と連携し、ブランド強化を推進

【工業団地】▼半導体産業を中心とした多様な産業の集積拠点をコンセプトとする新たな工業団地の開発に向け、基本設計、現況測量、地質調査などを実施

【企業誘致】▼令和10年度予定の新たな工業団地の分譲に向け、企業の立地意向調査を実施



支笏湖国立公園に指定されている支笏湖



東千歳の畑作の様子

事業名	予算額(千円)
スマート農業普及推進助成事業	4,800
中小企業対策支援事業	577,401
商業振興プラン策定業務経費	5,599
地元就職・人材確保支援事業	17,403
観光PR事業	12,697
次世代半導体拠点推進事業	18,125
★(仮称) 柏台地区工業団地開発事業	203,438
企業誘致推進事業	12,646



おもな施策

《第7期総合計画》で設定した「7つのまちづくりの基本目標」にそって、おもな施策を紹介します。

① 「あたたかさとながりを心で感じられるまち」の推進

【医療】▼市民病院の医師をはじめとする医療従事者の更なる充実▼持続可能な地域医療体制を確保するため、「市民病院の経営改善及び2030年を見据えた医療機能検討委員会」を新たに設置

【地域福祉】▼総合福祉センターの老朽化対策として、施設の環境改善を推進▼子育て、障がい、介護、生活困窮などに関する相談支援、参加支援、居場所づくりを一体的に行う「重層的支援体制整備事業」を推進

【保健予防】▼带状疱疹ワクチンについて、65歳以上の対象者に対し接種費用を助成

【母子保健】▼多胎児を妊娠中の方の健診回数の上乗せ▼産後ケア事業における、デイサービス型の利用期間を産後4か月未満から6か月未満に引き上げ



带状疱疹ワクチン(65以上の対象者)の接種費用を助成



産後ケアの充実(デイサービス型の利用期間を延長)



基幹病院としての役割を果たす市民病院

事業名	予算額(千円)
★重層的支援体制整備事業	15,458
予防接種推進事業	479,742
産前・産後ケア事業	13,440
子ども医療費助成事業	369,563
★こども誰でも通園制度実施支援事業	15,207
★高齢者補聴器購入費等助成事業	3,200

【子育て支援】▼子ども医療費について、助成対象年齢を高校生(18歳)まで拡大、所得制限を撤廃し、令和7年8月診療分から「原則無料化」を開始

【高齢・障がい福祉】▼意思疎通に配慮が必要な方が安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、《千歳市コミュニケーション並びに情報の取得及び利用のための多様な手段の利用促進に関する条例》を制定▼中等度の難聴高齢者に補聴器の購入費を助成

【カーボンニュートラル】▼グリーン水素の地産地消▼公共施設への太陽光発電設備の導入

【廃棄物対策】▼道央廃棄物処理組合において、令和16年度を目標として最終処分場の整備を検討

【航空機騒音に対する住宅防音工事】▼予算の確保、対象範囲の拡大、告示後住宅への対応など制度の拡充を図る要望

※表中、事業名の「★」マークは、令和7年度、新たにはじまる事業です。
※予算についてはP7をご覧ください。

② 「豊かな自然を育み快適で住みよいまち」の推進



道央廃棄物処理組合の焼却施設



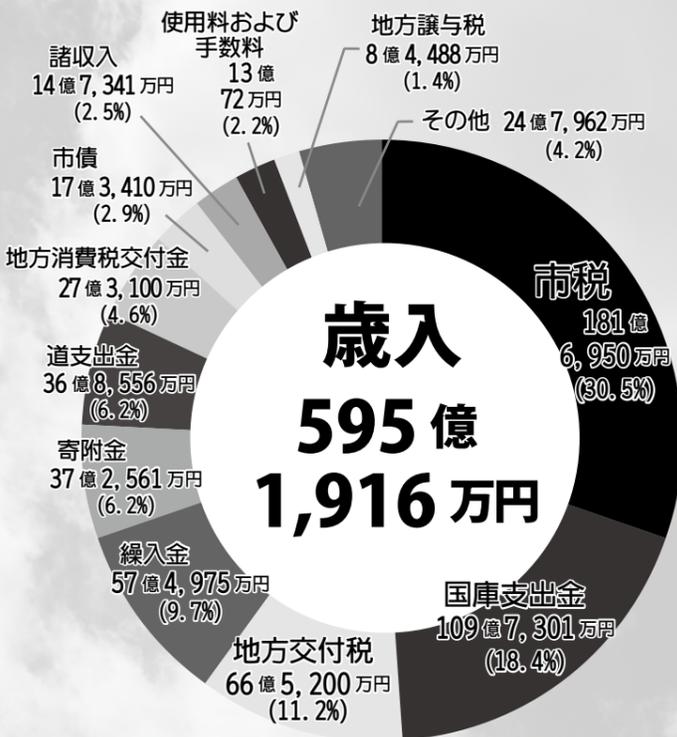
ゼロカーボンシティ実現に向けた脱炭素化の推進

事業名	予算額(千円)
公共施設等脱炭素化推進事業	25,000
道央廃棄物処理組合最終処分場建設事業	4,937
防衛施設周辺環境整備事業	1,399
在日米軍再編対策事業	6,367

予算の報告

一般会計	595億1,916万円	(13.0% ↑)
特別会計	186億2,662万円	(16.2% ↑)
公営企業会計	221億1,350万円	(16.6% ↑)

前年度比



歳入予算の内訳

会計名	令和7年度	令和6年度	増減	増減率(%)
一般財源	34,364,016	30,475,245	3,888,771	12.8
特定財源	25,155,147	22,200,755	2,954,392	13.3
歳入合計	59,519,163	52,676,000	6,843,163	13.0

(単位・千円)

※一般財源は、市税など市が使いみちを自由に決められるお金です。
 ※特定財源は、国や北海道の支出金など、使いみちが決められているお金です。

今年度予算のポイント

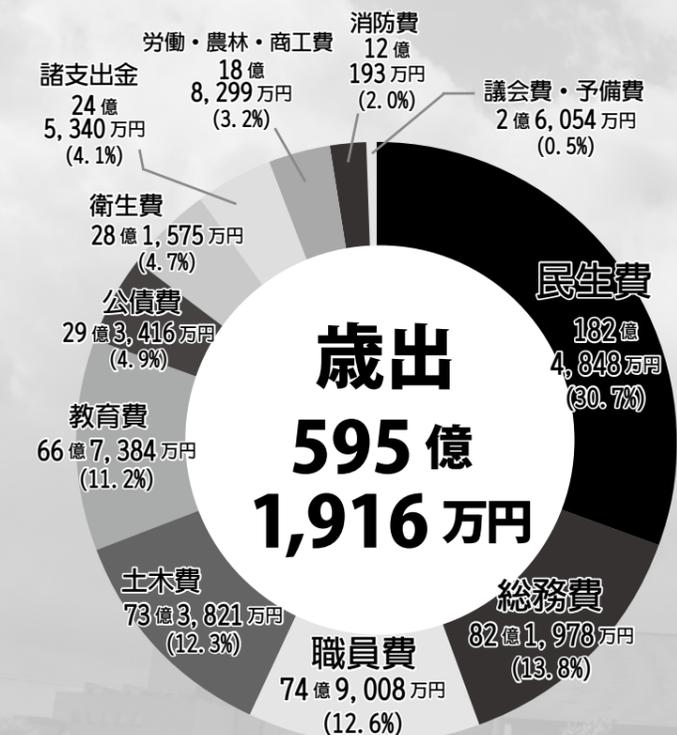
「第7期総合計画」および「第2期財政標準化計画」を着実に進めるとともに、公約に掲げる政策を具現化するため「優先課題推進枠」に関する予算を重点的に配分。人口増加が続く、持続可能な千歳の未来に向けて、直面する課題に積極的に対応するため、「次世代へつなげる"発展"予算」として編成しました。主な施策として、子ども医療費助成の拡大や柏台地区における新たな工業団地の整備などにより、今年度の予算総額は、595億1,916万円で、前年度と比較して13.0%の増加となっています。

《発展》 次世代へつなげる 予算

各会計予算総括

会計名	令和7年度	令和6年度	増減	増減率(%)
一般会計	59,519,163	52,676,000	6,843,163	13.0
特別会計	18,626,616	16,035,578	2,591,038	16.2
国民健康保険	7,968,948	7,970,083	▲1,135	0.0
土地取得事業	1,572	55,168	▲53,596	▲97.2
公設地方卸売市場事業	70,846	71,141	▲295	▲0.4
霊園事業	26,177	22,647	3,530	15.6
介護保険	6,129,884	6,471,512	▲341,628	▲5.3
後期高齢者医療	1,492,612	1,445,027	47,585	3.3
土地区画整理事業	2,936,577	0	2,936,577	皆増
合計	78,145,779	68,711,578	9,434,201	13.7
公営企業会計	22,113,503	18,959,158	3,154,345	16.6
水道事業会計	3,953,474	4,131,538	▲178,064	▲4.3
下水道事業会計	9,066,159	6,178,851	2,887,308	46.7
病院事業会計	9,093,870	8,648,769	445,101	5.1
合計	22,113,503	18,959,158	3,154,345	16.6
総合計	100,259,282	87,670,736	12,588,546	14.4

(単位・千円)



詳細

【市政執行方針に関すること】企画課 企画推進係 ☎(24)0442/☎(22)8852
 【予算編成に関すること】財政課 財政係 ☎(24)0541/☎(22)8854

⑥「暮らしやすく便利な都市基盤があるまち」の推進



ラビダス社の建設現場



まちのシンボルである千歳川と桜並木



国際拠点空港化に取り組む新千歳空港

事業名	予算額(千円)
空港機能整備促進事業	1,313
2026 ちとせ・空港開港 100 年記念事業	53,930
インクルーシブ遊具整備事業	54,900
治水対策事業	715
水道施設更新事業	225,750
下水道施設更新事業	2,881,758
市道整備事業	782,200

【新千歳空港】▼関係機関と連携し、空港機能の高質化や航空路線を維持・拡充
 【中心市街地の活性化】▼千歳市民夏まつりの開催を支援
 ▼《ちとせ未来ビジョン》の現に向けて、エリアマネジメントに関する勉強会を実施
 【公園】▼誰もが楽しく遊ぶことができるインクルーシブ遊具を整備▼公園の魅力向上に向けた施設の更新や民間との連携による利活用を検討
 【千歳川流域の治水対策】▼堤防整備や河道掘削などの河川整

備や、開発行為に伴う雨水の流出抑制対策などを推進▼まちのシンボルである千歳川の河川空間を活用するため、《千歳市かわまちづくり計画》を策定
 【上下水道】▼計画的な更新のほか、指定避難所などへの配水管路の耐震化を実施▼ラビダス社の試作ラインに必要な水の供給を開始▼量産体制時の排水処理に必要なポンプ場および下水道管を整備▼処理場の処理能力を増強▼まちの発展に伴う水需要の増加に対応するための、水源確保に向けた検討を推進

⑦「多彩な市民とオール千歳で挑戦するまち」の推進



ふるさと納税を活用した情報発信

【町内会活動】▼町内会連合会などと連携し、活発なコミュニティ活動を支援
 【新たな地域コミュニティ拠点】▼(仮称)大和地区コミュニティセンターについて、令和9年度中の供用開始に向けて実施設計に着手
 【DXの推進】▼行政が持つさまざまな地図情報をインターネットで広く公開し、市民や事業者が閲覧、利用することができるシステムを導入▼住民登録、税などの行政情報システムを標準化
 【情報発信】▼「ふるさと納税」や「移住情報ポータルサイト」などを活用し、まちの魅力発信▼広報ちとせやホームページ、SNSなどを活用し、幅広く情報を発信
 【市公式ホームページ】▼AI技術を活用した検索機能や、「やさしい日本語」機能の導入などにより、使いやすさを向上



広報ちとせ、ホームページ、SNSを活用した情報発信



市役所内で進めてきたDXの取り組み

事業名	予算額(千円)
町内会育成事業	27,488
(仮称)大和地区コミュニティセンター整備事業	79,419
ふるさと千歳応援事業	3,726,515
☆市公式ホームページ機能強化事業	35,629